



平成 29 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 子 孝 夫
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 コーポレート本部長 森 田 善 之
(T E L . 0 3 - 6 8 5 3 - 9 0 8 8)

平成 29 年 1 月 期 通期連結業績予想値と実績値との差異及び 個別決算における前事業年度の実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 3 月 15 日に公表しました平成 29 年 1 月 期連結の通期（平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日）業績予想値と実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、個別決算における当事業年度の実績値が前事業年度の実績値から一定以上変動しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値と実績値との差異

（平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	7,100	150	150	80	2.07
今回実績（B）	6,627	599	392	314	8.14
増減額（B-A）	△472	449	242	234	6.06
増減率（％）	△6.7%	299.4%	161.4%	293.6%	293.1%
（ご参考） 前期実績（平成 28 年 1 月 期）	6,837	△114	27	△1,318	△34.19

2. 個別決算における前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との差異

（平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益（円）
前事業年度実績（A）	3,743	138	△1,786	△46.31
当事業年度実績（B）	3,794	411	315	8.15
増減額（B-A）	51	272	2,101	54.46
増減率（％）	1.4%	196.1%	—	—

3. 差異が生じた理由

【連結】

売上高につきましては、国内部門は概ね計画通りに進捗したものの、欧州拠点における不採算案件の発生に伴う営業活動の停滞や、ネットワークソフトウェア事業における新規事業の1つであるNFV(Network Functions Virtualization)関連事業の立ち上がりの遅れにより、6,627百万円となりました。

営業利益につきましては、ソフトウェア事業(国内)を中心に開発案件の管理強化による原価抑制が功を奏したことから粗利率が改善し、また、全社的な販管費削減の取り組みにより、当初の業績予想数値を449百万円上回り599百万円となりました。

なお、営業外費用として、為替差損141百万円や投資事業組合運用損116百万円等の業績押し下げ要因が発生しておりますが、経常利益は392百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は314百万円となり、いずれも当初の計画を上回りました。

【個別】

売上高につきましては、IoT分野においてBeaconソリューションの販売が好調であったことや電子出版分野の堅調な事業進捗により、前事業年度の実績値と比較して51百万円増加し3,794百万円となりました。

経常利益につきましては、売上高の増加に加え、連結業績と同様に開発案件の管理強化による原価抑制や販管費削減の取り組みにより、前事業年度の実績値と比較して272百万円増加し411百万円となりました。また、前事業年度に実施いたしました本社の移転及び固定資産譲渡による特別損失の影響がなくなったことにより、当事業年度の当期純利益は2,101百万円増加し315百万円となりました。

以 上